

ラグビーワールドカップ2019™開催期間中の県内観光客の状況

ラグビーワールドカップ2019™開催期間中の県内観光客の状況について、県内の観光コンテンツ（約200か所）や主要観光地の観光協会等へのヒアリング、観光庁の調査結果（宿泊旅行統計調査）、外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip」の分析などによる調査・分析を行った。

1 総括

- (1) 台風等の影響により、県内延べ宿泊者数は、全体（日本人及び外国人）で対前年同月を下回った。（※1）
- (2) 外国人延べ宿泊者数については、ラグビーワールドカップ観戦客の影響により増加した。（※2）
- (3) また、旅行支出の高い欧州・豪州からの観光客の割合が飛躍的に増加したため、県内への大きな経済効果があったものと推察される。

※1 客室稼働率及び延べ宿泊者数（日本人及び外国人）

	9月	対前年増減	10月	対前年増減
客室稼働率	74.1%	+9.1%	70.5%	+3.2%
参考 (日本全国の客室稼働率)	62.7%	+1.1%	62.9%	-1.1%
延べ宿泊者数	1,778,850人	-8.8%	1,744,320人	-9.5%
参考 (日本全国の延べ宿泊者数)	43,754,670人	-1.5%	45,398,050人	-2.5%

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」（令和元年9月・10月）

※2 外国人延べ宿泊者数

	9月	対前年増減	10月	対前年増減
外国人延べ宿泊者数	235,000人	+6.5%	314,280人	+19%
参考 (日本全国の外国人延べ宿泊者数)	6,920,770人	+1.7%	8,966,220人	+8.8%

<国籍（出身地）・地域別の延べ外国人宿泊者数の構成比（神奈川県）>

主な国籍（出身地）地域（2019年9月） 中国：32% 米国：15% **欧州：12%** 台湾：5% 韓国：4%

（参考：2018年9月 中国：30% 米国：14% **欧州：11%** 台湾：7% 韓国：4%）

主な国籍（出身地）地域（2019年10月） 中国：26% **欧州：16%** 米国：13% **豪州：5%** 台湾：4%

（参考：2018年10月 中国：28% 米国：15% **欧州：11%** 台湾：6% 韓国：5%）

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」（令和元年9月・10月）

2 県内の観光コンテンツへのヒアリング結果

(1) 概要

- ア 三大観光地（横浜・鎌倉・箱根）を中心に、多くの外国人観戦客が訪問した。
- イ 一方で、三大観光地内においてもコンテンツごとに状況が異なった。
- ウ 外国人の受入環境体制の整備や継続的なPR等を行っていたコンテンツについては、一定の効果が見られた。

(2) 外国人観戦客が多く訪問した観光コンテンツの特徴

- ア 英語のウェブサイトの設置や、外国人観戦客向けの割引キャンペーン・イベントの開催など、受入環境体制を充実化したコンテンツ
- イ 海外向けに継続的なPRを実施したコンテンツ
- ウ 日本の伝統文化体験や日常生活、地域の人々とのふれあい等を体験できるコンテンツ

3 外国語観光情報ウェブサイト「Tokyo Day Trip」の分析結果

(1) 言語別のアクセス傾向

- (英語) 日本文化体験、自然体験、グルメ関連のコンテンツ
- (簡体語：主に中国) 三浦半島や横浜のコンテンツ
- (繁体語：主に台湾) 乗り物や富士山に関連するコンテンツ
- (韓国語) 博物館や工場見学
- (ベトナム語) 海や花に関連するコンテンツ
- (その他) 大船観音寺、小田原城 などの人気が高い

【参考】 ラグビーワールドカップ2019™の概要

- 1 日時：令和元年9月20日から11月2日（44日間）
- 2 観客動員数：延べ1,704,443人（1試合平均 37,877人）
- 3 チケット販売数：約184万枚（販売可能席 185.3万枚、販売率 99.3%）
 - (1) 横浜国際総合競技場
試合数：6試合（7試合実施予定のうち、1試合が台風で中止）
観客数：延べ401,742人（1試合平均 約67,000人）
 - (2) ファンゾーンin神奈川・横浜
開催日数：13日間（15日間の開催予定のうち、2日間は台風のため中止）
入場者数：延べ1,537,000人